

地域医療連携だより

第17回「地域連携の会」WEBで開催



京都岡本記念病院主催の「地域連携の会」が9月4日、オンラインで開催され、同院の医師や職員、地域の医師ら合わせて47人が参加しました。地域の医院・病院と京都岡本記念病院の連携を深める目的で年に1度開催してきた「地域連携の会」は、新型コロナウイルスの影響で今年の開催が見送られ、1年延期してのオンライン開催となりました。

まず、京都岡本記念病院 高木敏貴院長のあいさつで始まり、特別講演では京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器外科学 大辻英吾教授が「胃癌に対する外科的治療」と題して講演。胃癌手術の歴史的変遷や、最新のガイドラインにも掲載されていない、術後合併症の発生が懸念されるハイリスク症例について解説しました。

続いて京都岡本記念病院 COVID-19対策本部 副本部長である牧野雅弘副院長が、当院のCOVID-19 感染対策と重症患者対応について講演しました。

交流会では、当院の循環器内科、心臓血管外科、消化器内科、消化器外科、脳神経内科、脳神経外科がそれぞれ治

療実績や手術症例などを説明しました。

最後に宇治久世医師会 会長 堀内房成 先生が「コロナ禍のなか、京都岡本記念病院と宇治久世医師会は、今まで以上に強い連携で、この難局を乗り切っていきたい」と、力強いあいさつで会を締めくくりました。

開催間際まで対面開催とのハイブリッド開催が模索されましたが、市中の感染状況を考慮し、直前に完全WEB開催に変更となり、ご迷惑をおかけいたしました。ご理解いただき、参加くださった皆さん、ありがとうございました。今後も感染拡大防止に配慮しつつ、連携を深める機会をつくってまいりますので、よろしくお願いいたします。



京都府立医科大学大学院
医学研究科 消化器外科学 教授
大辻 英吾 先生



宇治久世医師会 会長
堀内房成 先生



京都岡本記念病院
高木敏貴 院長



京都岡本記念病院
清水義博 副院長



京都岡本記念病院
牧野雅弘 副院長



患者さん向けポスター

かかりつけ医への逆紹介を さらに推進し より良い医療連携をめざします

当院は「地域医療支援病院」として、地域の『かかりつけ医』の先生方との連携を大切に考えております。

ご紹介いただいた患者さんは、適切に逆紹介でお戻りいただき、ご紹介元の先生方のご期待にそえるよう努力いたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

お声掛けください！ 地域医療連携室



2021年4月に加藤久代地域医療連携部長が着任し、9月には牧野雅弘副院長（脳神経内科主任部長）が地域医療連携担当となりました。気持ちもあらたに頑張っております。

現在、コロナ禍で、訪問や催しを自粛せざるをえない面もございますが、感染対策に留意しつつ「顔の見える連携」を少しずつ築ければと考えております。どうぞ、お気軽にお声掛けください。



牧野雅弘 地域医療連携担当 副院長
(脳神経内科主任部長)
・京都府立医科大学卒
・医学博士
・日本神経学会神経内科専門医／指導医
・日本脳卒中学会脳卒中専門医
・日本内科学会認定内科医
・日本医師会認定産業医



加藤久代 地域医療連携部 部長
(看護部 副看護部長)
・慢性疾患看護専門看護師
・糖尿病看護認定看護師

患者さんご紹介のときは、お気軽に地域医療連携室へご連絡ください

地域医療連携室 TEL 0774-46-5981(直通) FAX 0774-46-7835(直通)



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地